

農業委員会だより 第68号

発行 印西市農業委員会 編集 農業委員会だより編集委員会
〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2 電話 0476-33-4707

市内で元気に活躍している農業者、櫻井さんをご紹介します

就農して20年。少しづつ農業経営の拡大と共に従業員も増員し、一年を通して旬の野菜を作っている櫻井修一さん（造谷）にお話を伺いました。



櫻井修一さん

野菜づくりの状況

東京秋葉原の家電量販店に8年間勤務後、就農して20年目になります。現在、畑を約9ha耕作しています。年間を通して出荷の無い日は無いくらい、ほぼ毎日何かしらの野菜を出荷しています。耕作地域は地元造谷をはじめ、草深・岩戸・竜腹寺・別所と点在しています。栽培作物は枝豆500a、ナス70a、ブロッコリー350a、サ

野菜づくりにおける課題

野菜の栽培現場においては、落花生を作るにはイノシシ対策として電気柵を設置しないと出荷までに侵入され売り上げに繋がらず、天候では不順により収量の減収、大型台風による施設の強化など以前に増して経費が増大して野菜作りが難しくなっています。更には、ここ最近の資材高騰で利益を残すのが大変厳しくなっています。今までの以上に反収当りの収量を増やし、一品当たりの単価アップのための販売戦略の強化が必要と感じます。利益を残し持続可能な農業経営ができるように頑張っていきます。

農業における喜び、やりがいなど

櫻井農園のテーマでもある、「農業で地元地域を笑顔にします！」が原点に尽きると思います。当初、就農した際は両親と一緒に耕作していた畑70aにも満たない面積だったと思います。近所の耕作放棄地を見ていて、「何とかこの畑を再生して野菜を栽培できないか」と積み重なった結果が現在に至ったと思います。賃借している地主さんが「耕作してくれて、ありがとう」と笑顔で言っていたのが何よりの励みでもありますし、やりがいを感じています。そして、一緒に畑を生産管理しているスタッフさんが農業という仕事を選んでいただき、笑顔になっている姿を見るのが一番嬉しいです。



小松菜の冬支度

新年のご挨拶



印西市農業委員会

会長 篠田道雄

新年あけましておめでとうございます。日頃より、当委員会の活動に対し、ご理解ご協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年はロシアによるウクライナへの軍事侵攻から始まり、原油高騰、物価高騰、そして約32年ぶりの超円安水準など、農家に限らず市民生活に直接影響のある厳しい社会情勢が続いた一年でした。

そのような中、当市ではコロナ対策農業者支援金や市民への物価高騰対策臨時特別給付金など、独自対策を展開して少しでも家計への負担が減る様、支援策を打ち出しているところです。こうした状況ではありますが、農家の皆様が見るべく希望を持って取り組める環境となることを心より願っております。

農業委員会では、今年も農地の適正な活用を図るべく、健全な農業の発展に寄与して参りますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。皆様方の益々のご多幸と健康を祈念して、新年のご挨拶と致します。

委員会活動報告

令和4年度香取・印旛ブロック別農業委員・農地利用最適化推進委員研修会
令和4年度経営力強化・農地集積シンポジウム



シンポジウム参加状況
(青葉の森芸術文化ホール)



香取・印旛ブロック別研修会
(神崎ふれあいプラザ)

10月20日、香取郡神崎町にある神崎ふれあいプラザにおいて令和4年度香取・印旛ブロック別農業委員・農地利用最適化推進委員研修会、また11月17日、千葉市中央区にある青葉の森公園芸術文化ホールにおいて令和4年度経営力強化・農地集積シンポジウムに参加してきました。

それぞれ通常開催としてはコロナ禍になって以来3年ぶりとなる全委員参加対象での開催だったので、各地から多くの参加者が集いました。令和3年度から新体制となった委員にとっては初めてのブロック別研修会・シンポジウムでした。

委員としての使命・役割の講演や、他市町村の活動取組みに触れ、普段経験することがない有意義な機会となりました。



有害鳥獣捕獲数 (H29~R3)

		H29	H30	R1	R2	R3
鳥 類		119	89	95	77	69
小動物	ハクビシン	182	151	116	112	120
	タヌキ	241	264	137	214	161
	アライグマ	16	19	16	45	39
イノシシ		612	958	704	869	733

市内で農作物に被害を及ぼす有害鳥獣の過去5年間の捕獲数の推移は上記のとおりとなっています。令和3年度の傾向として、イノシシの捕獲場所が過去に比べ拡大しています。その他、捕獲数が減少している獣種もありますが、被害は依然として発生しているため、引き続き「捕獲」・「防除」・「環境整備」といった対策をバランスよく実施していくことが求められております。



【担当】印西市環境経済部環境保全課鳥獣被害対策係 TEL: 0476-33-4439

砂ぼこり対策について

春先になると強風により農地から砂ぼこりが飛散し、風下となる地域へ悪影響を及ぼしてしまう場合があります。耕運時期の変更、緑肥作物の播種、中低木、防風ネットの設置等、砂ぼこりを抑える対策がありますので参考してみてください。

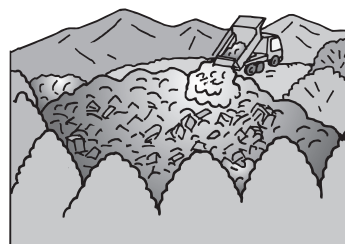
農地の適正な維持・管理をお願いします！

農地に雑草等が繁茂している場合、周囲の土地所有者等に迷惑がかかります。除草・耕運等を実施し、適正な維持・管理をお願いします。

遊休農地を無くしましょう！

◆遊休農地とは
耕作の目的に供されておらず、今後も引き続き耕作の目的に使われる見込みのない農地及びその利用の程度が周辺地域の農地に比べ、著しく劣っていると認められる農地に比べ、
◆なぜ問題？
不法投棄の増加や火災、病害虫の発生等

により、近隣農作物への被害や住民への悪影響が考えられます。また、大切な資源である農地が減少してしまうことから、減少を食い止め確保していかねばなりません。



農地に係る許可申請はお早めに…

農地を耕作目的で、売買や貸し借りを行う場合は、農業委員会の許可が必要となります。また、農地を農地以外に用途を変更する場合(農地転用)は、千葉県知事の許可が必要となります。許可を受けずに農地転用をした場合は、違反転用となります。なお、農地を山土砂等で埋め立てを行う場合には、農業委員会への届出又は一時転用の許可が必要となります。申請の際は、必ず事前に農業委員会事務局へご相談ください。

農業者年金に加入しませんか

農業者年金に加入して安心で豊かな老後を

◀ 農業者年金の主な特徴 ▶

- 農業に従事されている方は誰でも加入できます。
60歳未満の国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事していること。
- 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます。
- 月額2万円から6万7千円の間で千円単位で設定できます。
- 税制面で大きな優遇措置があります。
支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。
- 積立方式(確定拠出型)の年金です。
- 終身年金で、死亡一時金(80歳前に亡くなられた場合)があります。
- 制度改正により更に便利になりました。
35歳未満で一定の要件を満たすと月額1万円から加入できます。
受給開始時期を65歳以上75歳未満の間でご自身で選択できます。
国民年金に任意加入されている場合は60歳以上65歳未満でも加入できます。

◀ 農業者年金の内容やご相談については ▶

農業委員会事務局(電話33-4707)JA西印旛(電話48-2210)または
農業者年金基金(電話03-3502-3199)にお問い合わせください。

女性農業者の皆さん! 農業委員会で活動してみませんか?

政府では、誰もが意欲に応じ
て活躍できる男女共同参画社会
の実現に向けて、様々な取り組
みを実施しています。地域農業
の多様な声を反映するためには、
女性委員の存在は必要不可欠で
あると考えます。これからの農

業を盛り上げたいと考えている
女性農業者の方、農業委員や農
地利用最適化推進委員になつて
みませんか?ご興味のある方、
ふさわしい方をご存じの方は農
業委員会へお問い合わせくださ
い。

全国農業新聞を 購読しましょう!

- 農家のための情報誌です。
- 毎週金曜日に発行(週刊)
- 購読料 月額700円
(送料・税込)
- お申し込みは、
農業委員会事務局へ
(電話33-4707)

農業委員会への 申請 締切り

- ▼ 毎月25日
- ▼ (閉庁日の場合は、前日の閉庁日)
- ▼ 事前審査会 毎月上旬
- ▼ 総会 毎月中旬

編集後記

コロナの流行やロシアによる
ウクライナ侵攻により、経済の
混乱などで燃料や肥料等、農業
資材の高騰、農産物の価格変動
により農家の経営環境も大変き
びしい状況になりました。しか
し、「食」は生活の基本です。か
ら国や県の補助金等を活用して
みんなの食卓を守るため土を喰
らう十二月、今年も豊作を目
指して頑張ります。

〈石井 満 委員〉

- 編集委員長 佐瀬 知千
- 編集委員 荒井 一和喜
- 編集委員 荒井 敏彦
- 編集委員 石井 満
- 編集委員 山口 明
- 編集委員 山崎 幸雄